



今日のキーワード 盛り上がったインドの『ディワリ』商戦

インドでは、ヒンズー教の新年を祝うお祭り『ディワリ』が、毎年10月から11月にかけて開催され、国中が盛り上がります。今年の『ディワリ』は10月24日で、その約1か月前から各地でセールが行われており、年間で最も消費が高まる時期です。現地報道によれば、今年の『ディワリ』商戦は、ペントアップディマンド（繰り越し需要）に加え、コロナ感染の落ち着きによる消費者心理の改善を背景にかなり好調だった模様です。

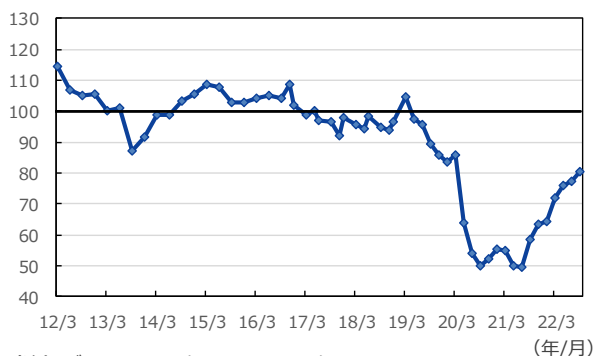
ポイント1 今年の『ディワリ』商戦は自動車を始め好調

- 現地報道によれば、10月26日時点で今年の『ディワリ』商戦は昨年に比べて売り上げが40%増との調査報告があります。多くのインド人が高額商品等を購入する祭事シーズンは、消費がかなり活況だったようです。
- 高額商品の代表格である乗用車販売をみると、主要乗用車メーカーの10月の国内乗用車販売台数は、最大手のマルチ・スズキが前年同月比29%増となるなど、『ディワリ』商戦を迎えて各社とも大きく実績を伸ばしています。

ポイント2 ペントアップディマンドと消費者心理改善

- インドの9月の消費者物価上昇率は前年同月比+7.4%とインフレが加速しているにもかかわらず、『ディワリ』商戦が好調な背景には、ペントアップディマンドと消費者心理の改善があると考えられます。
- 過去2年間、新型コロナウイルス禍で都市封鎖や行動制限等により人々の消費行動は抑制されていたため、大きなペントアップディマンドがあるとみられます。
- また、インド準備銀行（RBI）公表の消費者信頼感指数によれば、新型コロナウイルス感染の落ち着きに伴い、足元で消費者心理が大きく改善していることがわかります。経済再開による雇用回復で消費意欲は旺盛とみられます。

【インドの消費者信頼感指数】



(注) データは2012年3月～2022年9月。
(出所) CEICのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 消費堅調によりインド経済は高い成長が見込まれる

- RBIは、インドの消費が来年3月までの今年度下半期に強まるとみています。都市部については『ディワリ』商戦により需要が高まること、農村部についてはモンスーン期の降水量が平年を上回り、豊作が期待されることを挙げています。地政学リスクや、世界的な金融引き締め、外需の減速といった逆風があるものの、RBIは実質GDP成長率を2022/23年度+7.0%、2023/24年度+7.2%と予想しています。インド経済は消費の回復で堅調に推移するとみられます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも チェック!

2022年10月28日 販売が急回復、有望なインドの『自動車産業』

2022年10月17日 注目されるインドの『金融セクター』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。